

# 展覧会スケジュール

EXHIBITION SCHEDULE ■印は休館日

※各種展覧会の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。 ※記載内容に関しましては、変更される場合がございます。

2025	4	5	6	7	8	9
開館日のご案内	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30	SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30



平山郁夫	旅の誘い	平和への祈りを託して
3月8日(土)~7月6日(日)	3月8日(土)~7月6日(日)	7月16日(水)~9月28日(日)
佐藤忠良	コーナー展示	響き合う彫刻
2月4日(火)~5月6日(火・休)	2月4日(火)~5月6日(火・休)	5月15日(木)~9月28日(日)
楽直入		伝統と挑戦 ※一部展示替あり
		3月8日(土)~9月28日(日)

EVENT	立礼呈茶 要予約 5月25日(日)・9月13日(土)	ワークショップ 6月29日(日)・8月1日(金)~3日(日)・9日(土)・24日(日)	ミュージアムコンサート 5月31日(土)・9月6日(土)	美学(全8回) 10月12日(日)~12月14日(日)
-------	-------------------------------	--	---------------------------------	--------------------------------

※各イベントの詳細はホームページでご確認ください。

お知らせ

約9ヵ月間  
長期休館

2026年7月  
リニューアル  
オープン

施設の改修及びメンテナンス工事に伴い、9月29日(月)から約9ヵ月間の長期休館に入り、2026年7月にリニューアルオープンを予定しております。皆様にはご不便・ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどお願い申し上げます。  
なお、長期休館中も公式HPやSNSにて随時情報発信します。

平山郁夫(1930-2009)

日本画家。広島県出身。東京美術学校(現・東京藝術大学)で前田青邨に師事。15歳の時に被爆し、後遺症に悩まされるなか「平和の祈り」を込めて画業を積み重ねる。玄奘三蔵の求法の旅を追体験し、「シルクロード」をはじめ「仏伝」シリーズなどの作品を手掛け、主に院展を舞台に創作活動を続ける。また「文化財赤十字構想」を提唱し、文化財保護活動にも奔走。日本人初のユネスコ親善大使を務めるなど多方面で活躍。

佐藤忠良(1912-2011)

彫刻家。宮城県出身。少年時代を北海道で過ごし、絵画を学ぶために上京するが、ロダンやマイヨールなどに感銘を覚え彫刻家を志す。東京美術学校(現・東京藝術大学)を卒業後、新制作派協会(現・新制作協会)を舞台に活躍。終戦後のシベリア抑留生活の体験から、ごく普通の日常生活の中でほんの一瞬だけ垣間見る「人間の美」を追求した作品を多く手掛ける。1981年、パリの国立ロダン美術館で日本人初の個展を開催。

楽直入(1949- )

陶芸家。京都府出身。樂家十四代覚入の長男として生まれる。1973年、東京藝術大学卒業後イタリアへ留学。覚入の没後、1981年に十五代吉左衛門を襲名。桃山時代に樂茶碗を造り出した初代長次郎以来、450年の歴史と伝統を継ぐ樂家十五代として、伝統に立脚しながらそこに安住することなく、常に斬新な感覚を示す造形美の世界を表現し続けている。特に「焼貫」の技法を駆使し、大胆な篋削りによる彫刻的ともいえる前衛的な作風が特徴。

## わけあって絶滅しました。展

3月8日(土)~5月6日(火・休)

シリーズ累計発行部数96万部を突破した『わけあって絶滅しました。』は驚きの理由で絶滅していった生き物たちが、自らその絶滅理由を語る大人気図鑑です。優しすぎて絶滅!?デコリすぎて絶滅!?まさかそんな理由で!と地球から消えていった生き物たち。絶滅した生き物の歴史を紐解けば、新たな絶滅を減らすヒントもきっと見つかるはず。本展では、古生代、中生代、新生代と時間の流れにそって迫力満点の化石や大型標本、ロボット、イラスト解説パネル等を展示し、それぞれの時代にどんな生き物が栄え、そして絶滅していったのか、子どもはもちろん大人も学べる内容の企画です。



わけあって絶滅しました。®  
サトウマサノリ©

## 戦後日本画壇の風雲児 日本画家 横山操展

5月15日(木)~7月6日(日)

日本画家・横山操(1920-1973)は、大胆かつ豪快な作品を描き戦後日本画壇における風雲児と称されました。洋画家を目指し14歳で上京するも、日本画家へ転向し、川端画学校で日本画を学びます。川端龍子が主宰する青龍社の展覧会に初出品初入選することで、画家として大きな転換点を迎えます。本展では、青龍展への出品作、無所属で活躍していた時代の作品など、代表的な大作を含めて画業を振り返る名品の数々を一堂に公開します。また、これまでの横山操展では公開される機会が少なかった、丹念で精緻に描かれた作品などによって、豪放かつ繊細な画風で日本画界に新風を巻き起こした横山操の知られざる一面も紹介します。



横山操《ウォール街》  
1962年 東京国立近代美術館蔵

## ベルナール・ビュフェ 偉才の行方

7月16日(水)~9月28日(日)

フランスの画家・ベルナール・ビュフェ(1928-1999)は、黒い輪郭線とモノトーンに近い色づかいで、1940年代後半に独自のスタイルを確立しました。彼の絵画は、見る人に驚き、不安、ショックを与えるだけでなく、第二次世界大戦で疲弊したフランス人の心を見事に映し出していると称讃され、ビュフェはピカソに比肩する逸材と評されるようになります。本展では、世界屈指のビュフェコレクションを有するベルナール・ビュフェ美術館の所蔵作品より、1940年代から最晩年にいたるビュフェ芸術を展覧します。20世紀最大のフランス人画家の一人と言われたビュフェの偉才をご覧ください。



ベルナール・ビュフェ《ピエロの顔》  
1961年  
ベルナール・ビュフェ美術館蔵  
© ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2025 X0401

## 来館される皆様へのお願い

- 館内は「話し声」や「笑い声」が大変響きやすくなっています。他のお客様のご迷惑になりますので、静かにご鑑賞ください。展示室以外の場所でもできるだけ小さい声でお話してください。
- 作品及び展示物(額縁、展示ケースも含む)には、触れないでください。
- 展示室・茶室内での写真・ビデオ撮影は禁止です。
- 大きなお荷物は、コインロッカー(100円返却式)にお預けください。また、傘は館内に持ち込めません。
- 館内では、飲食(ガム・アメを含む)は禁止です。ペットボトルはバッグにしまおうか、コインロッカーをご利用ください。
- その他、館内では係員のご注意をお聞きいただき、皆様于心よく鑑賞できる環境作りにご協力ください。

# 美術館のご案内

- 開館時間** | 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日** | 毎週月曜日(祝・休日にあたる場合はその翌日)、展示替期間、開館カレンダーをご参照ください。  
※2025年9月29日(月)～2026年6月末迄長期休館します。
- 入館料** | 一般1,300円 高大生900円 ※要学生証提示  
中学生以下無料 ※ただし保護者の同伴が必要  
※企画展開催時は、その都度定める料金。  
※WEB事前予約制を実施している場合有。  
障害者手帳をお持ちの方(要提示)、付添者(1名のみ)無料
- 友の会会員募集のご案内** | 一般会員/年会費 3,000円  
特別会員(個人、法人)/年会費 30,000円  
※(年間を通じて入館料無料)等の特典がございます。  
詳しくはお問い合わせください。

■お車ご利用の場合

駐車場有70台 **駐車料無料** ※美術館入館者

大阪・京都方面ルート

- 名神京都東IC (湖西道路真野出口/琵琶湖大橋経由) → 約40分 → 佐川美術館
- 名神瀬田西IC (湖周道路経由) → 約30分 → 佐川美術館

名古屋方面ルート

- 名神高速 → 名神栗東IC (守山・栗東線経由) → 約30分 → 佐川美術館
- 新名神高速(草津JCT経由) → 名神瀬田東IC (湖周道路経由) → 約40分 → 佐川美術館

■鉄道・バスご利用の場合

- JR堅田駅(湖西線) → 約15分 → 佐川美術館
- JR守山駅(琵琶湖線) → 約35分 → 佐川美術館

※バスの運行本数が限られておりますので、事前にご確認ください。



**佐川美術館**  
SAGAWA ART MUSEUM

〒524-0102 滋賀県守山市水保町北川2891  
TEL. 077-585-7800 FAX. 077-585-7810  
<https://www.sagawa-artmuseum.or.jp/>

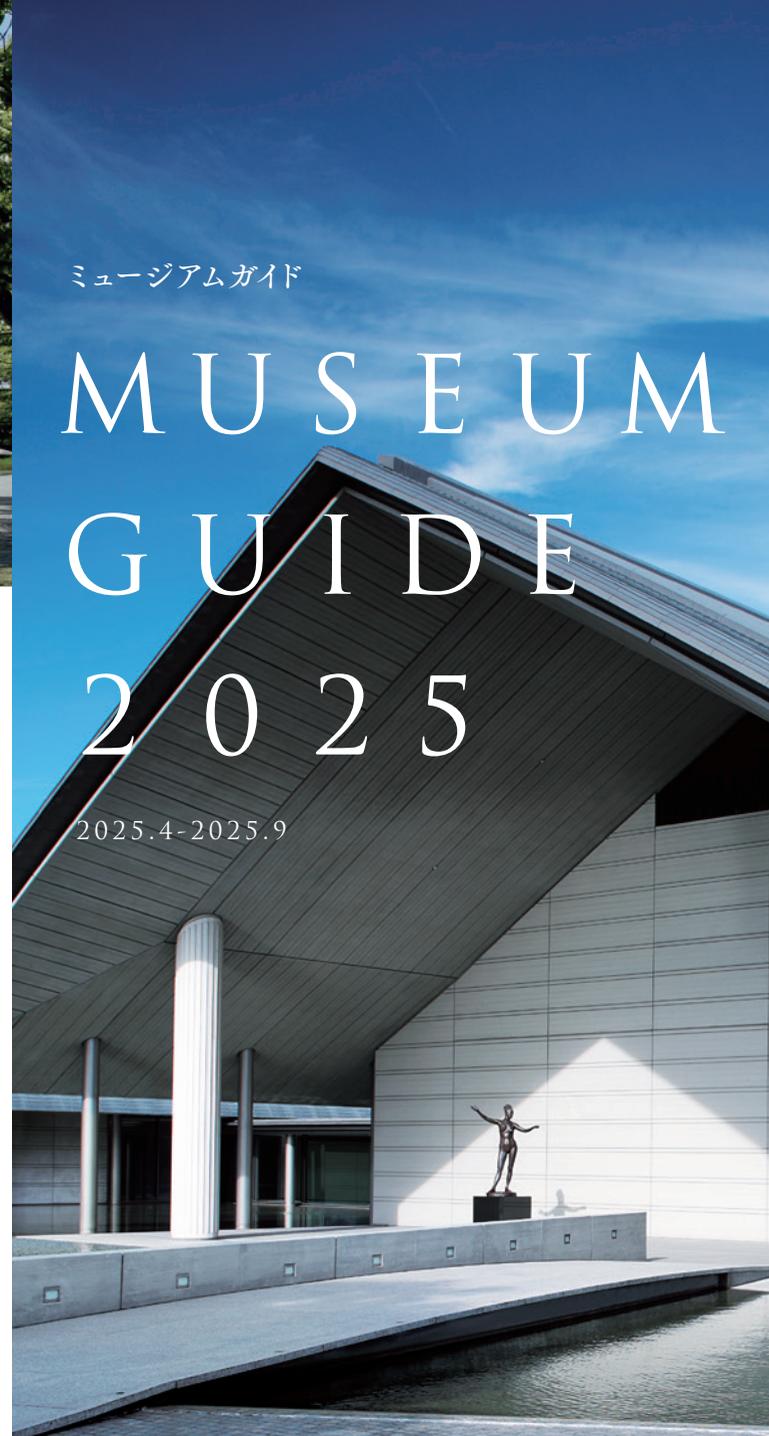


## 水庭にたたずむ美空間

佐川美術館は、佐川急便株式会社創業40周年記念事業の一環として、滋賀県・守山の地に開館いたしました。水庭に浮かぶようにたたずむ建物は、和の印象を重視した切妻造の2棟の平屋で、それ自体がアート。周辺の自然環境とも調和し、風景、建物、作品が一体感ある美しさを醸し出しています。



館内には日本を代表する芸術家である日本画家の**平山郁夫**と彫刻家の**佐藤忠良**、陶芸家の**樂直入**の作品を展示。3人の巨匠の作品を一度に鑑賞できるたぐいまれな美術館です。  
※展覧会の都合で常設作品の展示場所を変更いたします。



**佐川美術館**  
SAGAWA ART MUSEUM